

第70回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 平成28年6月20日(月) 15:00~17:15

場 所 神戸大学本部 大会議室

出席者 武田議長(学長)、天野委員、川合委員、小林委員、坂田委員、佐藤委員、田中委員、水越委員、水谷委員、小川委員、藤田委員、杉村委員、井上委員、内田委員、藤井委員、吉井委員
(オブザーバー) 外村監事、林監事、品田副学長、吉井副学長、大野副学長、小田副学長、片岡副学長、佐伯学長補佐

欠席者 井戸委員、大橋委員、久元委員

議事要録について

第68回及び第69回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等(○:意見・質問)]

- 1 国立大学法人神戸大学学則等の一部改正等について
大学教員組織と教育研究組織を分離すること等に伴い、以下の規則等を一部改正等することについて説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 1 国立大学法人神戸大学学則(一部改正)
 - 2 国立大学法人神戸大学の教員組織に関する規則(制定)
 - 3 神戸大学教員人事委員会規則(制定)
 - 4 神戸大学教授会規則(一部改正)
 - 5 神戸大学の講座及び学科目並びに研究部門に関する規則(廃止)
- 2 国立大学法人神戸大学年俸制適用職員給与規程の一部改正について
年俸制教員の活動評価実施時期が改定されることに伴い、国立大学法人神戸大学年俸制適用職員給与規程を一部改正することについて説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 3 国立大学法人神戸大学準正規職員就業規則の一部改正について
国立大学法人神戸大学職員の自己啓発等休業に関する規程の一部改正に伴い、国立大学法人神戸大学準正規職員就業規則を一部改正することについて説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 4 国立大学法人神戸大学内部統制実施規則の一部改正について
年俸制教員の活動評価実施時期が改定されることに伴い、国立大学法人神戸大学年俸制適用職員給与規程を一部改正することについて説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 5 第2期中期目標期間に係る教育研究評価の自己評価書(達成状況報告書等)について
第2期中期目標期間に係る教育研究評価の自己評価書について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
 - 自己評価が3なのか4なのかによって、今後の大学経営に具体的な影響が出てくるのか。
→ 運営費交付金に若干の差がつく可能性がある。
 - 自己評価は客観的評価なのか。
→ 客観的根拠に基づき自己評価を行い、根拠資料は提出している。
 - 国際化、特に英語教育について、神戸大学の英語力が上がったというデータ(例:TOEFL成績データ)はあるのか。
→ 卒業時にアンケートをとって把握している学部もあるが、全体については把握していない。全学生に2回、外部試験を受けさせようということで予算化しているが、2回目の受験率が低いことが懸念事項である。
- 6 平成27年度事業年度に係る業務の実績及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について
平成27年度事業年度及び第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。

- 学長ビジョンを実現するための歳出は増えているのか。また、それを支える収入確保方針はどうか。
 - 外部資金を増やそうとしている。附属病院の収入は設備投資に連動して上下するので一概には言えないが、昨年から今年にかけての診療費の伸びは全国第2位である。大学の総収入は増えていると思うが、今後については断言できない。1.6%の機能強化係数が続いていくが、対応をどうするかというのが非常に頭の痛いところである。大学が独自収入を得られるような策(例：科学技術アントレプレナーシップ株式会社)を立ち上げ始めている。
 - 科研費等の競争的資金は増えているのか。
 - 競争的資金は微増している。
 - 競争的資金を人件費として使うことはできるのか。
 - 競争的資金はプロジェクト期間内しか人件費として使えない。大学が自由に使える運営費交付金全体としては減ってきているため、人件費が逼迫してきている。
- 7 神戸大学ビジョンを支える新たな教員組織・人事システムについて
教員組織の教育研究組織からの分離・大括り化、ポイント制の導入及び学長裁量戦略枠の設定を柱とした「神戸大学ビジョンを支える新たな教員組織・人事システム」について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 若手教員の育成に影響があると思うが如何か。
 - 若手教員については優秀な研究者にインセンティブを与えるやり方を整えており、神戸大学独自のテニユア・トラック制も導入している。人件費削減の影響を受けているのが若手ポストであり、この点については文部科学省も危機意識を持っている。
 - 大学の努力で歳入を上げて人件費を積極的に増やし、若手ポストをたくさん配置するように努力していただきたい。
 - ご意見のとおりである。
 - 別途の学長戦略予算枠はあるのか。どの程度の柔軟性があるのか？
 - ある。例として6年の間に学長が自由に使えるポストは25ぐらいである。
 - 責任の所在が明確でないと人事配置は問題なくても人事交流を行うのが難しいのではないか。
 - 統合されたフレキシブルな人事体制に見えるが、教育研究組織の核の部分であるカリキュラムがどう変わるかということがわからないと、学域単位の人事を行っていくことは難しいのではないか。
 - 何年もかけて戦略的な手順をふまないと混乱が起こるのではないか。
 - ご意見のとおりであり、その点に留意しながら、昨年度から情報をオープンにして意見交換をしながら検討を進めてきた。
- 8 神戸医療産業都市との連携強化とグローバル化を目指したがん医療・研究・教育拠点形成について
神戸医療産業都市との連携強化とグローバル化を目指したがん医療・研究・教育拠点形成について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 9 キャンパスマスタープラン見直しについて
キャンパスの有効な整備活用を図ることを目的として策定しているキャンパスマスタープランの改訂について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 10 平成29年度 概算要求について
国際人間科学部設置と入学定員の改訂、及び機能強化経費等について説明が行われ、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 国際人間科学部以外の学部の国際的教育はどのように行っていくのか。
 - 各部局において国際化のための育成プログラムが進行中であり、文系のみならず、理工系のグローバル教育も動いている。

報告事項

- 1 神戸大学に係る報道等の紹介について
神戸大学の活動が取り上げられた新聞記事について報告があった。

◎ 次回は、平成28年9月21日に開催予定。